

明るく元気の出る町

広報

平成6年4月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1994

4

NO.469



希望を胸に笑顔の卒業式
(3月14日・東由利中学校にて)

目標は明るく元氣の出る町
活性化拠点に本格着手

33億5,984万4千円

平成6年度一般会計予算



▲施政方針説明をする阿部町長

施政方針(要旨)

激動の五年度から
活力の六年度へ

平成五年度は、当初には想像も出来なかつた激動の一年間であります。まず国では、三十八年間続いた自由民主党の単独政権に替わり、八党派による連立政権ができあがりました。また、大変な不景気でもあります。政府は出口がわからない「平成大不況」に対応して、このたび十五兆円を越える第三次大型補正予算を組んでいます。是れ、効果的補正であつてほしいものであります。一方、昨年の十二月十四日未明、日本はガット・ウルグアイ・ラウンドで将来の「米の自由化」につながる部分開放を受け入れるとの政府発表がありました。平成五年は百年に一度と言われるほどの大冷害で、わが町でも八月十二日に農産物異常気象対策本部、九月には冷害対策本部を設置して凶作の恐怖に備えなければなりません。このような状況下での「政府判断」でしたので大変なショックでありました。「あきたこまちと由利牛の里」を標榜する本町として、政府の判断にはやり切れない気持ちですが今までの長い論議の結果と

平成6年度は合併40年・町制施行20周年の年

活性化拠点施設整備

温泉保養施設を建設

平成7年度に完成予定の「道の駅」に隣接して計画されている「町活性化拠点施設」は、今年度から本格的な工事が行われます。当初予算では、温泉保養施設などの設計費や土地造成費などが計上されています。

福祉の充実



▲「いちょう館」では職員定数を増やして介護を充実

ルパーを二名増員し、福祉サービスの充実を図つてていくとしています。また、

永慶保育園の乳児室の改造を支援し、安心して保育できる環境整備が計画されています。

農業振興

現状を積み上げ将来に

政府のコメの部分開放を受けて、

「あきたこまちと由利牛の里」を標榜する本町では、「世界のコメとの競争」を念頭において施策を展開していくことになります。現状を積み上げて将来の農業を見据えながら、今まで経験したことのない「部分開放」への対応策を推進していくことになります。

今年の再生産に万全を図るために、冷害融資への利子補給、救農土木の実施、減収農家がハウスを設置する場合の補助率のかさ上げなどが予算に盛り込まれています。

畜産振興

ホームヘルパーを増員

在宅介護の拠点となるデイサービスセンター・在宅介護支援センター「いちょう館」が三月一日にオープンしました。この施設を有効に活用していくために職員定数を五名増員、ホームヘルパーを二名増員し、福祉サービスの充実を図つて行くことにしています。

不況対策

制度に利子補給で支援

不況の中でも苦労している中小企業の支援策として、中小企業振興資金の二種を利子補給、県の受注減等対策特別資金の保証料の助成を行い、中小企業を支援することにしています。

合併40年記念事業
町制施行20周年記念事業

イメージソングを制作

町村合併四十年、町制施行二十周年の記念の年になる今年は、数々の記念事業が行われます。記念式典、記念誌、町史の続編ともいってべき、「林業史」の発行、フィンランドからサンタクロースの一行を呼ぶ「サンタフェエスティバル」への支援、さらに、イメージソングやイメージキャラクターの製作も予定されています。また、館合農村公園



▲乳児室の整備で安心できる保育を(写真・みどり保育園)

効果と健全財政が柱

まず予算計上するに当たつていつも申し上げてきたことがありますが「明るく元気の出る町」東由利をつくり上げるために現在及び将来を見据えながら次の四点を念頭に入れて施策展開をしていくこうとしています。

- 1・長寿社会と共に寿ぐために
- 2・山紫水明の里づくり
- 3・産業の振興
- 4・人材・後継者づくり

行政は言うまでもなく継続でもあります。昨年までの予算の執行状況を見ながら行政効果を考慮しながら「さらに検討を加えて行くもの」「反省して行くもの」「膨らませて行くべきもの」「新しい観点から施策して行くもの」「新規に取り入れて行くもの」それぞれ十分な検討を加えて予算計上したつもりであります。

そして勿論、継続事業の完全実施をかること、また、財政の健全性への配慮であり、また議会の予算・決算審査報告や各要望を十分反映する事ができるよう配慮しました。

議員各位はじめ、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

八塩ダムにペダルボート

本町観光の目玉である八塩いこいの森は、年々整備が進められています。昨年は「新奥の細道」が完成し、今年は、あずま屋建設を要望しています。

また「湖面から周囲を眺望したい」との要望に応え、ペダルボートを装備する計画です。

大平スキー場は、国道から五分のファミリースキー場として親しまれていますが、施設、機械などの老朽化が目立っています。このため、ゲレンデや照明の再整備、除雪車の更新が予定されています。

小・中学校

「やしお号」を更新

昨年赴任した英語指導助手のアレンさんは、子供たちや先生方をはじめ、



▲更新される「やしお号」

海外研修は「商工業」がテーマ

今年で四回目となる町民海外研修は商工業振興をテーマに行われます。

国道一〇七号の童画のトンネル付近には、高橋宏幸先生のチロヌップのきつねのレリーフが完成しています。高橋宏幸賞・童画秋田県コンクールもさらに充実して継続されます。また、東由利音楽祭も行われます。

一方、体育施設の整備では、勤労者野球場の外野フェンスに網がつけられ、一、二メートル高くなります。また、法内地区には、運動広場が整備されます。

奥ヶ沢工区10月に完成

国道一〇七号、畠村・奥ヶ沢間二、二〇〇メートルが本年十月に完成する予定です。開通式は本町が会場になる予定ですが、関係者だけでなく子供たちも含めた町のお祝いにする考えです。開通する前に開放区を作り、トンネルや高橋宏幸先生のレリーフを見ていただき、道路面に漫画を書いてもらう行事などが予定されています。久保・板戸間は、

地域の方々にも大変喜ばれており、任期の更新をお願いしています。

施設整備では、中学校の体育館の屋根改修、高瀬小のグラウンド整備、八塩小のスクールバスの更新があります。

生涯学習

基本的には現道拡幅で進められ、二本のトンネルができる予定で、平成七年度着工の見通しです。

県道整備

館合バイパスに着工

仁賀保矢島館合線の館合バイパスは、本年度で用地買収が完了、一部工事が行われ、平成七年度の完成予定となっています。川原田橋の架け替えも今年度着工され、平成七年度の完成予定です。羽後向田館合線は、雪寒道路整備事業で改良されており、今年度も引き続き整備されます。これには、羽後町と連係しつつ、早期の完成を要望していく考えです。

施設整備

町営住宅3戸を建設

町営住宅六世帯は現在満杯であり、今年の需要を見越し今年は、二戸一棟

方式一棟と平屋建住宅一棟の三世帯分が整備されます。宿の桜並木周辺は、県事業で河川公園が整備されることになりました。今年度で用地買収を完了し一部着工、八年度に完成予定となっています。

昭和五十五年にスタートした農村総合整備モデル事業は、今年度で完成します。十五年間で十七億二千万円の事業になります。

奥ヶ沢工区が完成し、本庄にグーンと近くなります。

一般会計予算(歳出) (単位:円)



6年度一般会計
グラフで見る

一般会計予算(歳入) (単位:円)



質問

歩道が完成するので、その後の課題と
したハ

小松賢議員 ①葉たばこに強力な支援と啓蒙指導を②減反と他用途利用米の

小松久徳議員 ①県道横手東由利線のバイパス整備を②西久保地区河岸の斜面崩壊対策を③水道施設の整備、点検

の徹底を④台山線の館合地区側に歩道設置を

町長 ①現道拡幅整備が基本②六年度に農村総合整備モデル事業で墓地の下部分を整備、残りは県に要望していく③下水道の整備とあわせていきたい④七年度には老方側から跡見坂地区まで

町長 ①同感である。高齢者対策や後継者対策を含めて考えたい②全体の中で県、JAと協議しながら対応したい。なお、六年度の他用途利用米価格は、政府米価格と同じになる見通し

小松慎一議員 ①コメの部分開放への対応は②学校、東光苑給食のコメを全量町内産で③マツクイムシ防除の徹底を④七〇歳以上の方に万歩計の配布を
町長 ①農業振興対策会議、関係団体と協議していく②同感であるが、制度

上は無理。国では、学校給食は全量自主流通米対応としている③本町の災害はゼロと聞いている。県委託の巡回員と連携をとりながら、お互い注意したい④良い提案であり、考えてみた

遠藤忠平議員 ①農業振興大綱見直しの考えは②一般競争入札導入の考えは町長 ①農業振興対策会議等の中で、将来を見通して議論したい②透明性、競争性、客觀性を十分考え、国、県の試行結果を見て対応したい。



▲本町のような“コメどころ”にも輸入米のパッケージが目立つ

全議案を原案どおり可決

おもなものは次のとおり

粗大ゴミ処理場の持ち込みを有料化

平成五年度に整備されたカンナ平の粗大ゴミ処理場の使用料を別表のとおり改正し、個人で持ち込む場合も有料化になりました。

奨学資金貸付基金を増額

種 別	単 位	処 理 手 数 料				備 考	
		町 収 集		個 人 持 送			
		現 行	改 正	引 上 額	新 設		
家庭電化機器物（テレビ、冷蔵庫、洗濯機）	1 撃	360円	500円	140円	300円		
自転車	1 台	200円	400円	200円	200円		
モーター・バイク	1 台	300円	500円	200円	300円		
発泡スチロール	1 梱包	200円					
農事用使用済ビニール類	1 袋	50円				可燃物のため除外	
農 機 大	トラクター、コンバイン等	1 台	1,230円	1,500円	270円	1,000円	
機 中	田植機、観穀機等	1 台	510円	700円	190円	500円	
共 小	中耕除草機、刈り機等	1 台	200円	400円	200円	200円	
トタンくず、がれき等一般家庭解体に伴う不燃性建築廃材	軸トラック1台					1,000円	
	2t トラック1台					3,000円	
	4t トラック1台					5,000円	

- 個人で持ち込みできるのは、東由利町に居住する町民に限るものとする。
- 本表に掲げる以外のものについては、本表の種別を基準に類別し、当該千枚札を提出することができる。
- 持込期間は、平成26年1月1日。

小笠原謙一氏を選任

小笠原謙一氏を選任

氏查

一万九千円を追加し、総額を四十五億八千百八十四万五千円とするもの。この補正は、国の景気対策による第三次補正を受けた事業が多く、主なものは

結婚・出生に5万円

ほのほの祝金条例は定住を前提に、結婚された方と生まれた子供それぞれに五万円の祝い金を支給するもので。なお、この条例は十年間の期限つき。

た処理場の利用日は後日周知。現場では管理人対応となります。なお、施設を借用する場合はご了承下さい。

中山間ふるさと水と土保全基金条例を設置

13路線を町道に認定

土地改良施設の機能保全や施設利用をしている住民の活動を活発にしようと「中山間ふるさと水と土保全基金」を設置し、六〇〇万円を積み立てました。

2億4千万円余りを追加 5年度一般会計補正予算

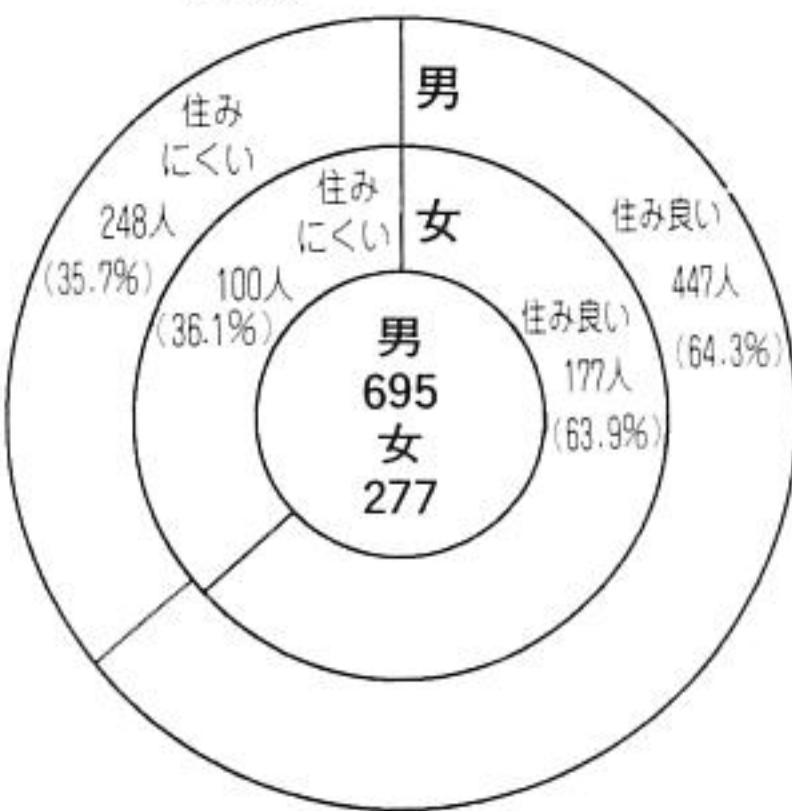
次のとおり。▼地域振興基金積立金八千七百九十二万一千円▼農道整備費五千七百九十四万九千円▼農村総合整備モデル事業費七千六百二十五万九千円

地域活性化に対するアンケートから

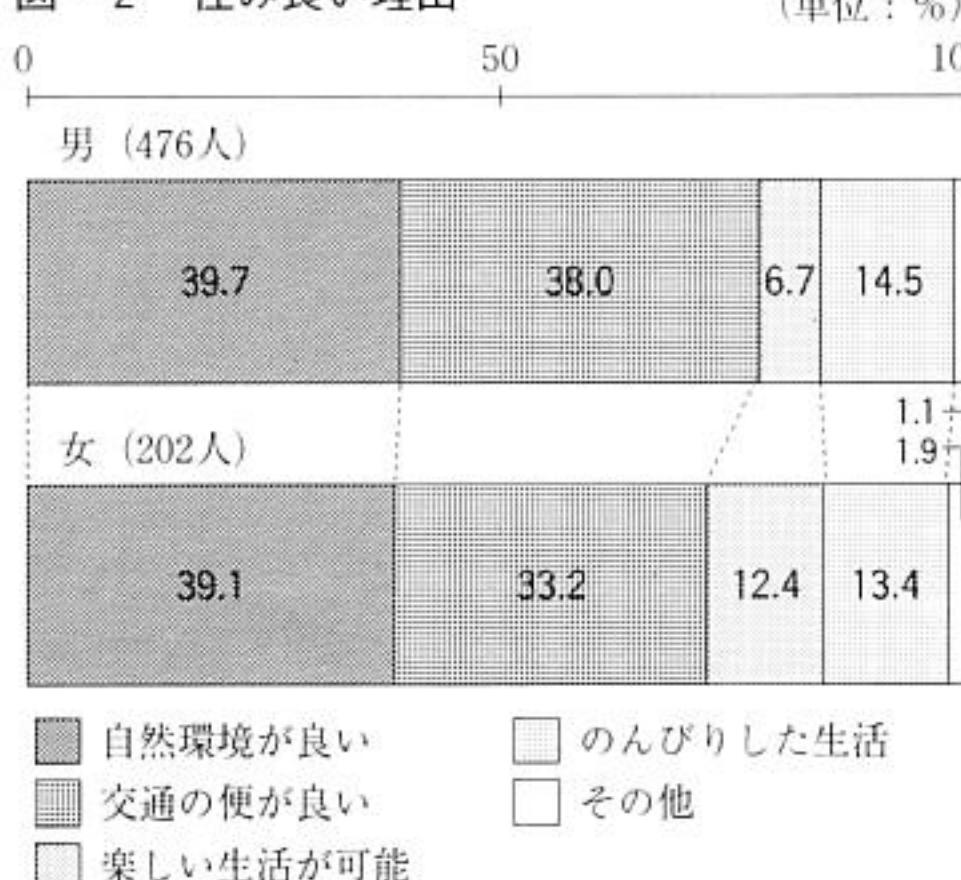


▲子供たちに夢を与える町に（写真・高瀬小卒業式）

図一 地域についてどのように感じているか



図二 住み良い理由



問 日常の生活についてどのように感じていますか。（図一）

▽ 全体の六割の人が、住み良い（住み良くなっている）、三割強の人が住みにくく（住みにくくなっている）と答

問 住み良い（住み良くなっている）と答えた人は、その理由をあげてください。（図一）

▽ “住み良い”と答えた人の約四割が「自然環境」をあげています。年代別

えており、比率も男女ともほぼ同じ結果となりました。年代別では高年齢ほど“住み良い”と答えているのに対し、二十代、三十代の女性が“住みにくい”と答えています。

昨年六月に町内全世帯を対象に「地域活性化に対するアンケート」を行った結果、全体の七七・二%にあたる一、〇五六戸から回答がありました。この中では、特に活性化拠点施設への要望が多く、「若者が『この町に住み続けたい』、『外に出て行きたくない』と思える施設を」、「活性化拠点は良いことだと思う。期待している」といった要望や、「建物を建てても赤字だけが残るのでは」、「このような施設は不要ない。他にやることがある」といった意見も出されました。この調査は「町づくりは、町民の考えに立つて」を目指して行われたのですが、町では「活性化拠点施設整備事業の推進にも、この結果をかみしめてあたりたい」としています。

アンケートの集計分析結果の概要をお知らせします。

アンケートの回答者の性別、年代、職業は下表のとおりです。なお、グラフは複数回答の場合や無回答の場合があり、下表の人数とは必ずしも一致しません。

	人	%
男	730	69.1
女	286	27.1
計	1,016	96.2
性別不明	40	3.8
合計	1,056	100.0

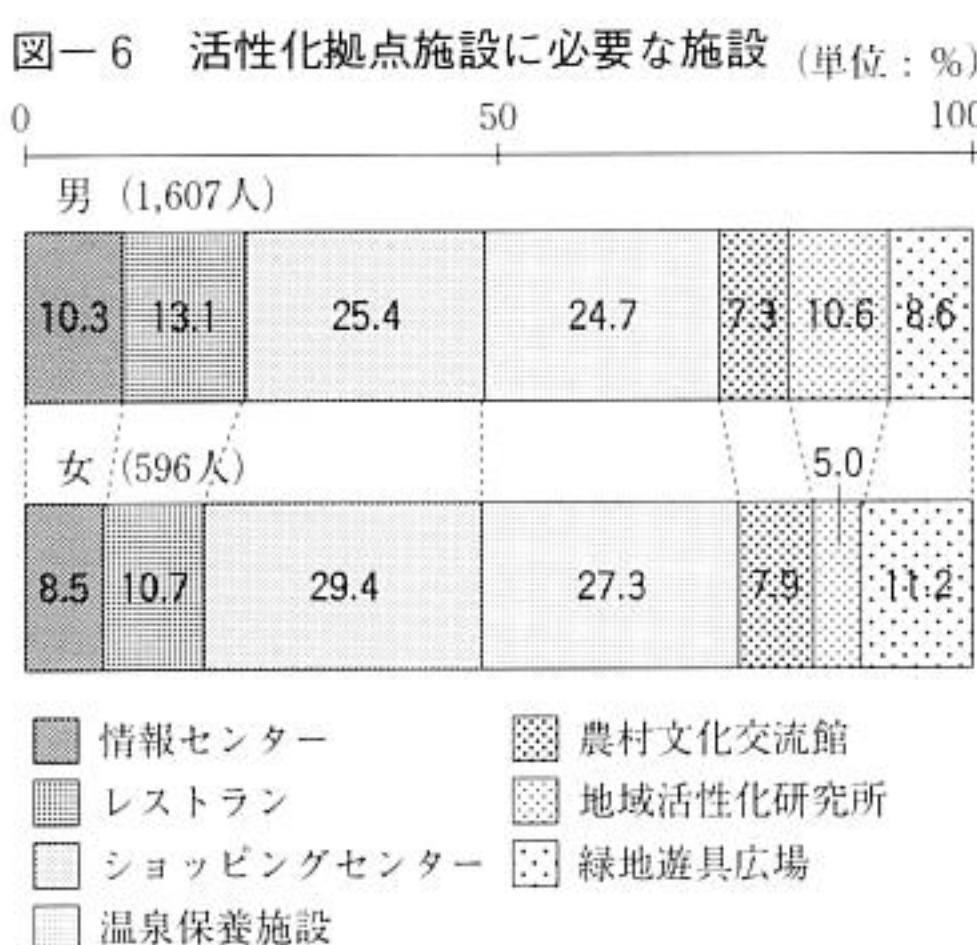
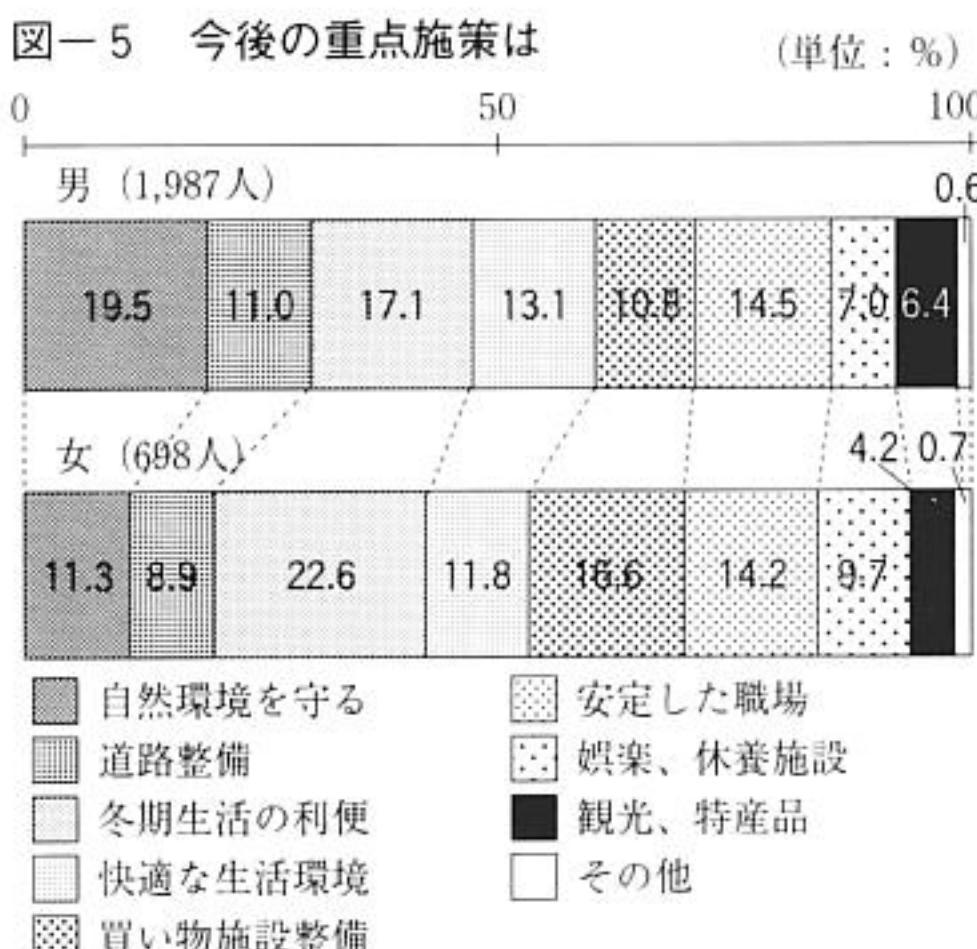
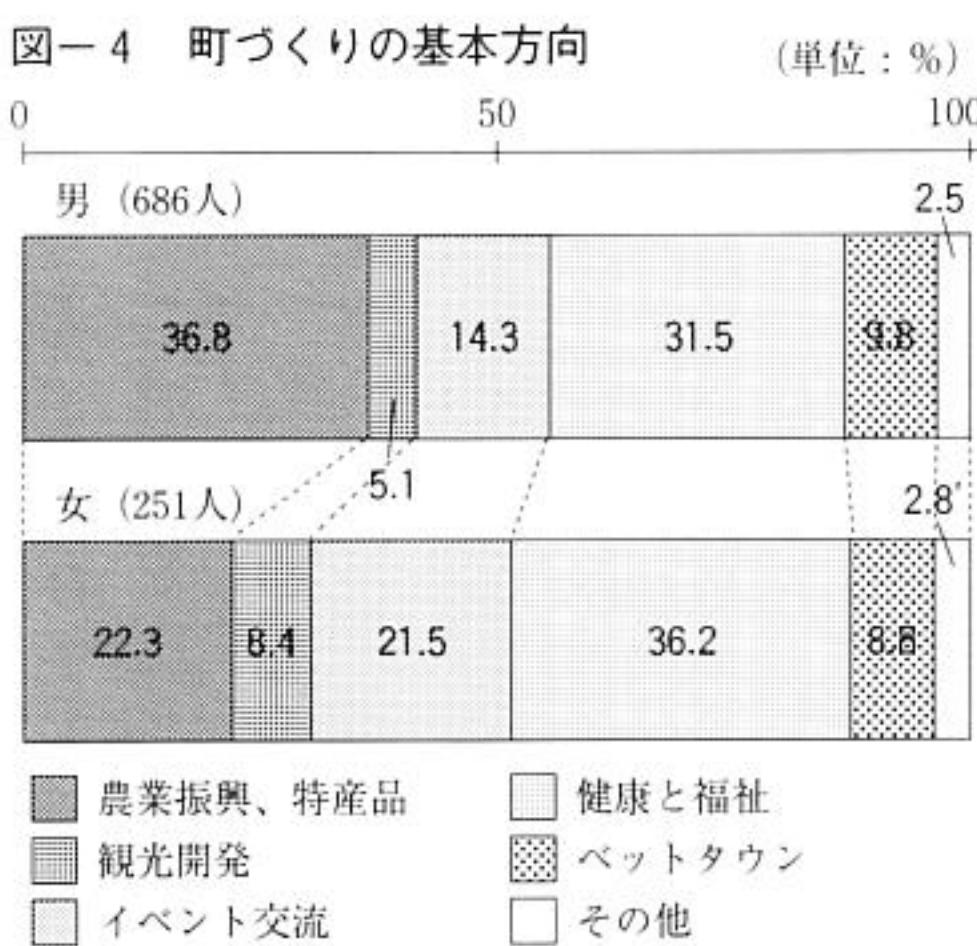
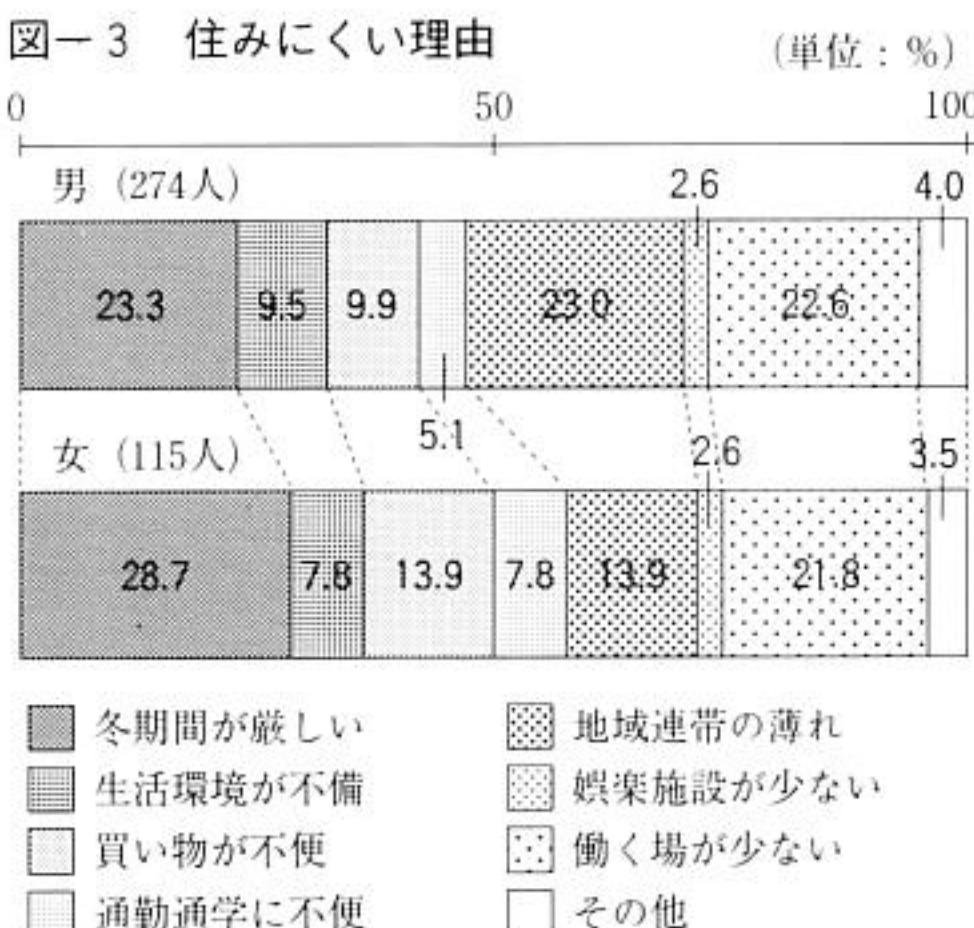
	人	%
20代	16	1.5
30代	149	14.1
40代	274	26.0
50代	260	24.6
60代	309	29.3
計	1,008	95.5
年代不明	48	4.5
合計	1,056	100.0

	人	%
農業	484	45.8
商業	46	4.4
サービス業	35	3.3
会社員	203	19.2
公務員	41	3.9
その他	179	17.0
計	988	93.6
職業不明	68	6.4
合計	1,056	100.0

若者が住み続けたい町に

ゆっくり入れる温泉がほしいな！ そして……

では、五十代が「交通の便」を第一位にあげており、ほかの年代は、「自然環境」が第一位、職業別では、農業とサービス業が「交通の便」を第一位にあげているのに対して、他の職業では「自然環境」が第一位となっています。



問 住みにくい（住みにくくなっている）と答えた人はその理由を教えてください。（図一3）

▽全体の約四分の一が「冬期間の生活が厳しい」ことを住みにくい理由にあげ、「働く場が少ない」が続いています。男女別では、冬期間の生活が厳しい、地域の連帯が薄い、娯楽施設が少ない、働く場が少ない、などをあげています。

問 町づくりの基本方向はどうあるべきだと思いますか（図一4）

▽全体としては、「健康と福祉」が最も支持され、次いで「農業や特産品の

町」、「イベントなどの交流の町」の順になっています。男女別では、男性が「農業や特産品の町」をトップにあげています。年代別では、農業や特産品の町が各年代とも上位で支持されています。

問 住み良い町づくりのため、今後どんなことを重点的に進めるべきだと思いますか（三つまで選択）（図一5）

▽全体では、「冬期の暮らし易さ」の確保を望んでおり、「冬は厳しい」という町民の実感がうかがえます。性別では、男性が「自然環境の保護・美化」をトップにあげているのに対して、女性は「冬期の暮らし易さ」をあげておらず、男性よりも女性の方が、冬期の生活が厳しい」と訴えています。職業別では、各職業とも「安定した職場の確保」を二、三位にあげています。

問 町づくりの基本方向はどうあるべきだと思いますか（図一4）

▽全体としては、「健康と福祉の町」が最も支持され、次いで「農業や特産品の

問 地域活性化拠点施設にはどのような施設が必要だと思いますか（必要と思ふもの全てを選ぶ）（図一6）

▽「ショッピングセンター」と「温泉保養施設」が最も要望されています。また女性のほうがショッピングセンターを支持しているのが大きな特徴。特に二〇代の女性は一〇〇%が「必要」としています。

問 地域活性化拠点施設に要望が高いほど要望されており、六〇代の男性は、七五%が必要としています。

問 地域活性化拠点施設に要望を出されました。

この中では、▽国道沿いに娯楽施設なども建て、町外からお金が入るようになれば、「この町に住み続けたい」と若者が「この町に住み続けたい」、「外に出て行きたくない」と思える施設に▽町民の民度（考え方、もとの見方、向上心など）がレベルアップ（もつと学習し、高まろうとする意

欲）されるような施策を▽施設や整備に「遊び心」を大切に▽他のモノマネではなく町独自のものを▽これから子供たちが伸び伸び楽しめる施設に→といった意見とともに▽施設を整備しても赤字しか残らないのでは▽ショッピングセンターを建てても、町内だけの対象では品数も少なく、結局は他町へ行くのでは▽人口減少、高齢化などが取り組むものがあるのでは。ほかの施設を優先すべきでないか→といった心配する意見も出されました。



▲工事が進められている道の駅



改正後の年金額

(単位: 円)

	平成5年度	平成6年4月	平成6年10月
老齢基礎年金	61,442	62,275	65,000
遺族基礎年金(子1人)	79,150	80,225	83,700
障害基礎年金(1級)	76,800	77,842	81,250
(2級)	61,442	62,275	65,000
老齢福祉年金	31,442	31,867	33,300

平成六年度年金の制度改正案が発表になり、国民年金は、物価スライド分と五年に一度の年金額の見直しを行う予定です。

物価スライドによる年金額の改定は、毎年四月に行われており、昨年の一月から十二月までの消費者物価の上昇に応じて年金額が改定されるもので、また、今年度は五年

物価スライドと10月の見直しで
受給額が2回アップ

国民年金

保険料は月額

に一度の財政再計算期にあたるため、平成元年以降の賃金や生活水準の向上に見合った年金額の引き上げを十月に実施する予定です。

国民年金の保険料は、四月から月額六〇〇円上がり一二、一〇〇円（付加年金加入の場合は一一、五〇〇円）になり

いとう館オープン 開所式に80人出席



在宅福祉の拠点として整備が進められて来たデイサービスセンター・在宅介護支援センター「いとう館」の開所式が三月一日、関係者約八十人が出席して、同館で行われました。

完成した「いとう館」は、鉄筋コンクリート平屋建て約五百平方メートルで、総工事費は東光苑に増築したショートステイ専用居室も含め約二億三千七百万円。館内は内装に木材を多用し、採光部を多くとり、明るくぬくもりのある空間の確保に配慮しています。東光苑と廊下で結び、入所者と同

館利用者が交流できる造りになっています。

また、東光苑に増築されたショートステイ専用居室は、二人部屋二室と四人部屋一室の計三室、八人分が整備され、短期入所にも十分対応できるようになりました。

開所式では、神事の後阿部幸悦町長が「平成十二年に向けて町老人保健福祉計画が策定された。いちょう館の建設によりハード面は着々と整備されている。今後は、これらをいかに利用するかというソフト面の充実を図っていきたい」とあいさつしました。

ごくろうさまでした

八嶋主幹・青木課長が勇退

けで勇退されました。



八嶋 保氏



青木和雄氏

八嶋さんは、昭和三十五年に東由利村役場に奉職されて以来三十四年余り、この間、議会事務局長、住民課長、企画財政課長、総務課長を歴任し、平成四年四月から主幹として活躍されました。

青木さんは、昭和四十三年に東由利村役場に奉職されて以来二十六年余り、この間公民館長を経て平成四年四月から公営事業課長として活躍されました。



島山 遼くん
(大吹川・勉さん長男)



森川美由紀ちゃん
(横小路・由高さん長女)



長谷山峻之くん
(湯出野・和幸さん長男)



島山 健くん
(新町・実さん長男)



菊地加奈ちゃん
(新町・実さん長男)



高橋絵里ちゃん
(新町・実さん長男)

教職員異動

(敬称略)

【八塩小】
《転出》▼校長・宮澤隆(道川小)
▼工藤伸子(矢島小)
▼伊東綾子(金浦小)
▼講師・佐々木珠枝(退職)

【大琴小】
《転入》▼校長・大沢淳二(矢島小)

《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼小松浩一(高瀬小)

【本荘高校・下郷分校】
《転出》▼教頭・益子清孝

《転入》▼教頭・佐藤有香

《転出》▼鈴木寿(保呂羽小)

《転入》▼佐藤有香(小友小)

【高瀬小】
《転出》▼阿部道(鮎川小)

《転入》▼三浦仲子(鶴舞小)

《転出》▼小松浩一(町教育研究所)

《転入》▼新田清(本荘北中)

《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼畠山隆(平沢小)

【町教育研究所】
《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼小松浩一(高瀬小)

【本荘高校・下郷分校】
《転出》▼教頭・益子清孝

《転入》▼教頭・佐藤有香

《転出》▼鈴木寿(保呂羽小)

《転入》▼佐藤有香(小友小)

【高瀬小】
《転出》▼阿部道(鮎川小)

《転入》▼三浦仲子(鶴舞小)

《転出》▼小松浩一(町教育研究所)

《転入》▼新田清(本荘北中)

《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼畠山隆(平沢小)

【町教育研究所】
《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼小松浩一(高瀬小)

【本荘高校・下郷分校】
《転出》▼教頭・益子清孝

《転入》▼教頭・佐藤有香

《転出》▼鈴木寿(保呂羽小)

《転入》▼佐藤有香(小友小)

【高瀬小】
《転出》▼阿部道(鮎川小)

《転入》▼三浦仲子(鶴舞小)

《転出》▼小松浩一(町教育研究所)

《転入》▼新田清(本荘北中)

《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼畠山隆(平沢小)

【町教育研究所】
《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼小松浩一(高瀬小)

【本荘高校・下郷分校】
《転出》▼教頭・益子清孝

《転入》▼教頭・佐藤有香

《転出》▼鈴木寿(保呂羽小)

《転入》▼佐藤有香(小友小)

【高瀬小】
《転出》▼阿部道(鮎川小)

《転入》▼三浦仲子(鶴舞小)

《転出》▼小松浩一(町教育研究所)

《転入》▼新田清(本荘北中)

《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼畠山隆(平沢小)

【町教育研究所】
《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼小松浩一(高瀬小)

【本荘高校・下郷分校】
《転出》▼教頭・益子清孝

《転入》▼教頭・佐藤有香

《転出》▼鈴木寿(保呂羽小)

《転入》▼佐藤有香(小友小)

【高瀬小】
《転出》▼阿部道(鮎川小)

《転入》▼三浦仲子(鶴舞小)

《転出》▼小松浩一(町教育研究所)

《転入》▼新田清(本荘北中)

《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼畠山隆(平沢小)

【町教育研究所】
《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼小松浩一(高瀬小)

【本荘高校・下郷分校】
《転出》▼教頭・益子清孝

《転入》▼教頭・佐藤有香

《転出》▼鈴木寿(保呂羽小)

《転入》▼佐藤有香(小友小)

【高瀬小】
《転出》▼阿部道(鮎川小)

《転入》▼三浦仲子(鶴舞小)

《転出》▼小松浩一(町教育研究所)

《転入》▼新田清(本荘北中)

《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼畠山隆(平沢小)

【町教育研究所】
《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼小松浩一(高瀬小)

【本荘高校・下郷分校】
《転出》▼教頭・益子清孝

《転入》▼教頭・佐藤有香

《転出》▼鈴木寿(保呂羽小)

《転入》▼佐藤有香(小友小)

【高瀬小】
《転出》▼阿部道(鮎川小)

《転入》▼三浦仲子(鶴舞小)

《転出》▼小松浩一(町教育研究所)

《転入》▼新田清(本荘北中)

《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼畠山隆(平沢小)

【町教育研究所】
《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼小松浩一(高瀬小)

【本荘高校・下郷分校】
《転出》▼教頭・益子清孝

《転入》▼教頭・佐藤有香

《転出》▼鈴木寿(保呂羽小)

《転入》▼佐藤有香(小友小)

【高瀬小】
《転出》▼阿部道(鮎川小)

《転入》▼三浦仲子(鶴舞小)

《転出》▼小松浩一(町教育研究所)

《転入》▼新田清(本荘北中)

《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼畠山隆(平沢小)

【町教育研究所】
《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼小松浩一(高瀬小)

【本荘高校・下郷分校】
《転出》▼教頭・益子清孝

《転入》▼教頭・佐藤有香

《転出》▼鈴木寿(保呂羽小)

《転入》▼佐藤有香(小友小)

【高瀬小】
《転出》▼阿部道(鮎川小)

《転入》▼三浦仲子(鶴舞小)

《転出》▼小松浩一(町教育研究所)

《転入》▼新田清(本荘北中)

《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼畠山隆(平沢小)

【町教育研究所】
《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼小松浩一(高瀬小)

【本荘高校・下郷分校】
《転出》▼教頭・益子清孝

《転入》▼教頭・佐藤有香

《転出》▼鈴木寿(保呂羽小)

《転入》▼佐藤有香(小友小)

【高瀬小】
《転出》▼阿部道(鮎川小)

《転入》▼三浦仲子(鶴舞小)

《転出》▼小松浩一(町教育研究所)

《転入》▼新田清(本荘北中)

《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼畠山隆(平沢小)

【町教育研究所】
《転出》▼太田由起子(西瀧沢小)

《転入》▼小松浩一(高瀬小)

花栽培は今がチャンス

花栽培講習会

「町の気象条件を活かして、花づくりを」と三月一日、有鄰館で花栽培講習会が行われました。

講習会には、花栽培農家や花が好きな人など十八人が出席し、講師に秋田農業改良普及所の池田邦夫氏を招いて行われました。

講演の中で池田氏は「花きは、五十万種類の植物が売り物になると言わわれている。コメが揺れ動いている現在、花き栽培をはじめるのは良いチャンス」と前置きして「花きは、労働力を必要とするが、この町に適している花も多い。花のプロもいるので指導を受けながら頑張ってみては」と受講者に呼びかけていました。

これを受けて、参加者は具体的な花の栽培方法など、熱心に意見交換していました。



▲真剣に聞き入る参加者

球場内は終始笑い声

雪上野球東由利大会

今年で三回目を数える全県選抜雪上野球東由利大会が二月二十七日、東由利をおもしろくする会（小野克弘会長）と県雪上野球連盟の主催で労働者野球場を会場に行われました。



▲ヘッドスライディングで間一髪セーフ

人ボン 婦シ 自立した女性に



▲270人が参加したシンポジウム

第六回婦人シンポジウムが二月二十七日、有鄰館で行われ、主婦や婦人団体の会員など約二百七十人が参加しました。

シンポでは、最初に秋田大学教育学部の澤井セイ子教授が「二十一世紀に向けた女性の在り方」と題して講演し、「一人ひとりが自立し、助け合いの精神を持つことが必要」と、自立した女性の必要性を訴えました。

この後、「触れ合いと温もりのある高齢者社会を目指して」をテーマに体験発表を行いました。JA東由利フレッシュミセスの遠藤寿々子さん、町社会福祉協議会の佐藤陽子さんなどが発表を行い、それぞれの立場、体験から今後の老人介護などについて提言。参加者は真剣に聞き入っていました。



▶感げきを胸に巣立ち（写真・八塩小卒業式）



8個人、2団体を表彰

町スポーツ栄誉賞

平成五年度町スポーツ栄誉賞の表彰式が三月十一日、有鄰館で行われ、個人の部八人、団体の部二団体が表彰されました。入賞者は次のとおりです。（敬称略）

△個人の部

《個人競技》佐藤裕（東中三年、郡市中学校陸上競技大会

三年男子一二〇メートル走第一位）

大庭清人（東中三年、同大会男子走幅跳び第一位）

小野智樹（東中三年、同大会男子走幅跳び第二位）

遠藤恵理子（本荘高二年、県高校新規大会女子円盤投げ第二位）

《団体競技》小野理世（由利高一年、東北高校弓道選手権大会女子団体第三位）

小松雄一、大日向将也（由利高一年、県高校新人バスケ

△個人の部

《個人競技》佐藤裕（東中三年、郡市中学校陸上競技大会

三年男子一二〇メートル走第一位）

大庭清人（東中三年、同大会男子走幅跳び第一位）

小野智樹（東中三年、同大会男子走幅跳び第二位）

遠藤恵理子（本荘高二年、県高校新規大会女子円盤投げ第二位）

《団体競技》小野理世（由利高一年、東北高校弓道選手権大会女子団体第三位）

小松雄一、大日向将也（由利高一年、県高校新人バスケ

▲有鄰館で行われた表彰式

トボール選手権大会男子の部
第二位）横山広喜（大曲農高
三年、県南地区高校総合体育
大会バスケットボール競技優

勝）
△団体の部

東中男子リレーチーム（郡市
中学校陸上競技大会男子八〇
メートルリレー第一位）老方プリ

ンスチーム（県ゲートボール
選手権郡市予選年齢無制限の
部優勝）

芸術文化奨励賞を制定 1団体、2個人を表彰

「芸術、文化面で功績があつた方を讃えよう」と町芸術文化協会（小松順之助会長）が

芸術文化奨励賞を定め、三月十七日の選考委員会で今年度は一団体、二個人を表彰することにしました。

表彰式は、三月三十日に関係者約三十人が出席して有鄰館で行われました。表彰された方は次のとおりです。

（敬称略）

△東中吹奏楽部（第三十五回

全日本吹奏楽コンクール県大

会中学B銅賞）△石綿沙織（西日高一年、第三十五回県

美術展覧会デザインの部入選）
△小松武（五海保、同展覧会

写真の部入選）

裕介くんが全県一に

スキージュニアカップ



▲大会での豪快な滑り(写真・上)と喜びの裕介くん



▲文集を手に思い出を振り返る生徒たち



▲東中卒業式より

HIGASHIYURI 東由利の話題 TOPICS

町の宝もの

23

領界碑（板戸）

藩制時代の主要道に、老方・寺田を通つて雄勝郡坂ノ下に通ずる「安^と道」と呼ばれている道路がありました。

この道の坂ノ下に下る分岐点付近に、写真の石柱の領界碑が建っています。碑は、石の台座に高さ約一・五メートル、一面約二五センチの東・北・南の三面に「従^{たれ}是^{よりひがしあきたりよ}東秋田領」と深い字が刻まれています。なぜ西側の面に字が刻まれていな
いのか不思議に思われますが、秋田藩からすれば西側は生駒領（矢島藩）であり、他藩には干渉しないで自分の領



地が明確であればよいとの考え方からと思われます。

現在は「境」のバス停から北に約一・五キロの所にあって、自動車でも行けます。

“咬む”事は健康への第一歩

最近“咬めない子”や“咬むのが下手な子”的事が話題になっています。

“咬む”とは食物を碎いて消化する為になくてはならない機能ですが、何故子供たちは咬まなくなつたのでしょうか。原因として二つのことが考えられます。一つは食生活の多様化があげられます。俗に子供の好む食べ物は軟らかく、少し咬むだけで飲み込めてしまいます。これでは“咬む”機能がほとんど使われません。二つめは歯を虫歯にしてしまい、咬むことを怠つてしまつという結果です。

“咬む”事は食物を碎く機能に加えて、あごの発達、脳の発達を促進しています。周知の様に、脳というのは人間の生命（健康）を支配しています。よく咬むことによって全身の健康を補助するといつても過言ではないでしょう。

この“咬む”という作業は、口の中の歯で喰まれています。口の中が不健康な状態が続くとどうなるでしょう。人間にとつて楽しみであるはずの食事が苦痛になり、生活にゆとりがなくなってしまうのではないか。

私たちは歯を独立した一つの機関と考えがちですが、健康を維持する為の重要な体の一部と考え、少しずつでも自分の歯に关心を持っていきましょう。

この“咬む”という作業は、口の中の歯で喰まれています。口の中が不健康な状態が続くとどうなるでしょう。人間にとつて楽しみであるはずの食事が苦痛になり、生活にゆとりがなくなってしまうのではないか。

私たちは歯を独立した一つの機関と考えがちですが、健康を維持する為の重要な体の一部と考え、少しずつでも自分の歯に关心を持っていきましょう。

本荘市、岩城町、大内町、西目町、東由利町を管轄する本荘地区消防事務組合に、従来の救急車よりひと回り大きく、充実した機材を備えた“高規格救急車”が配備され、四月から救急用務に使用されることになりました。高規格救急車は県内で二台目。

この救急車には、自動心臓マッサージ器、酸素投与や呼吸管理のための血中酸素飽和度測定器などの最新式の医療機器のほか、電動油圧式で傷病者の

最新鋭の高規格救急車登場 県内で2台目 = 本荘地区消防事務組合 =



▲活躍が期待される高規格救急車

- ①平成6年3月議会の会期は何日?
A 10日 B 13日 C 15日
- ②いちょう館の開所式に出席したのは何人?
A 80人 B 85人 C 90人
- ③雪上野球に参加したチーム数は?
A 6チーム B 7チーム C 8チーム
- ④昨年1月から12月までの出生者は何人?
A 80人 B 85人 C 90人

※応募締切／4月15日（当日消印有効）
※全問正解者の中から抽選で5人の方に記念品をプレゼントします。

小松歯科医院（館舎）

小松義典先生



東由利誕生40年記念・東京ドームはつらつ夢の球宴

「貴重な体験、気分は最高」

「こまち」対「黄桜」、7対7の引き分け

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
こまち	5	0	0	0	2	0	0	0	0	7
黄 桜	2	2	3	0	0	0	0	0	0	7



▲阿部町長の始球式で「夢の球宴」が幕を開けた



▼プロ顔負けの豪快なバッティング

▲ネット裏では最前列で観戦



▲試合終了後、全員で記念撮影。表情も明るい

いきいき、クローズアップ

“東由利誕生四十年記念、東京ドームはつらつ夢の球宴”が三月十九日、東京都文京区の東京ドームで行われ、本町の野球爱好者や審判員約四十人が参加しました。

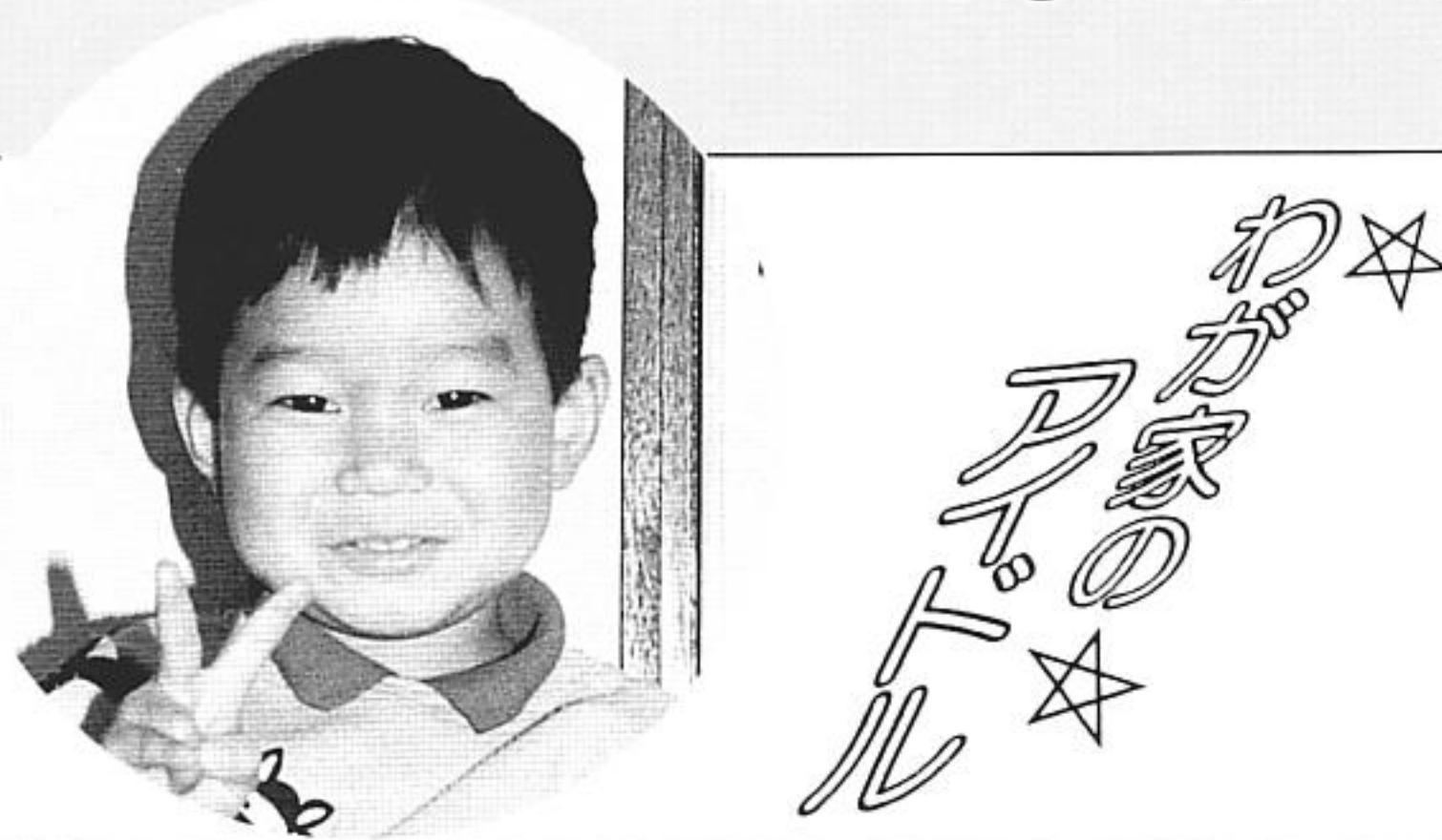
この企画は、東由利が誕生して四十一年を記念して、東京ドームはつらつ夢の球宴実行委員会（長谷山喜悦委員長）を中心には進められたものです。チームは参加者を二つに分けて、名

前は東由利に關係のある「こまち」と「黄桜」とつけられました。

当日の試合時間は、午前九時三十分から十一時五十分までの二時間二十分。阿部幸悦町長の始球式に続き、試合開始。こまちチームの猛攻で一挙五点を奪われ、一方的な試合かと思われたものの、徐々に黄桜チームが盛り返し、七対七のまま九回で終了、仲良く引き分けという結果になりました。一方、審判員六人は、主審、墨審、線審を交替

で受け持ち、なかなか体験できない東京ドームでの審判に満足していました。また、ネット裏の観覧席には、在京東由利出身者など五十人余りが応援に駆けつけ、白熱した試合に声援を送っていました。

参加者は「とても貴重な体験。特に打った時に金属バット音が響いて気持ちよかったです。最高の気分です」と興奮した様子で話していました。



「負けず嫌いの3男坊。お兄ちゃんたちとはとても仲良します。車が大好きなので将来はダンプの運転手にでもなるのかなとお母さんの主江さん。

石高・村上 皇ちゃん
(H3・5・20日生まれ)
忠悦さんと主江さん
の三男

東由利の文芸

せせらぎ句会(三月句会)

◆ 小鉢盛る路の香匂う朝くりや
◆ 移り来て小宅ながら木の芽垣
◆ 昼独り生味噌つけて路のとう
◆ 夜もすがら雪解の川のひびきかな
◆ 雪解風瀬音御嶽に駆け上がる
◆ 路のとう崖這い上がるランドセル
◆ 音もなく山動かして木の芽萌ゆ

◆ 小野石路子(上里)
◆ 小松慶治郎(高戸屋)
◆ 佐藤正義(湯出野)
◆ 阿部俊子(横渡)
◆ 小笠原トミ(藏新田)
◆ 菊地常作(横渡)
◆ 小松忠正(下通)

◆ 独り居や雪解零の音ばかり
◆ 崖しづく日輪育て路のとう
◆ 木々の夢さめて木の芽は陽を集め
◆ 路のとう添えて朝餉の膳となる
◆ ひもすがら雪解零の大伽藍
◆ 雪解路土から土に牛をひく
◆ 青春に似てホロ苦き路の蔓
◆ 木蓮の芽吹くをめでて今日平安
◆ 路のとう狭庭の道をふさぎおり
◆ 一輪車ころばしてありふきのとう

◆ 阿部貞子(藏)
◆ 小笠原亮子(藏新田)
◆ 鈴木要(沼)
◆ 小野貞子(藏新田)
◆ 阿部ナミ(藏)
◆ 遠藤トミ子(小倉)
◆ 工藤武雄(山崎)
◆ 小松順之助(中通)
◆ 大庭喜右エ門(舟木)
◆ 阿部澄子(藏)
◆ 小松女沙(下小路)

当時の館合新田には、耕運機が二、三台しかなく、春の耕起作業は馬が主流。肥料や資材が普及はじめてコメの収穫量も多くなって来た時代のように記憶しています。水がとてもきれ

いで、堰には魚がいっぱい。堰の上に風呂があり、洗濯もその水を利用したものでした。

そのころの一番の楽しみは演芸会と青年会。今のように自動車や娯楽施設のない時代だったので、みんなで楽しめるのはこれくらいでした。青年会が主催して映画会を企画したときは、会場の玉米小学校の体育館が満員になりました。でも電気の容量が少なくて、暗くてよく見えない映画会になってしまいまし

た。料金をもどすわけにもいかず、とても困ったものでした。

金銭的な豊かさよりも、自然がいっぱい、心にゆとりのある時代でした。



館合新田
小松 兵亮さん

青年会が一番の楽しみ

あの日・あの時

合併当時を振り返る

最近楽しかったことは「冬休みに安比スキーフィールドに行つたこと」と話す珠枝さん。今年は三回スキーに行つたそうです。また、バレー、ボルダリング、野球観戦も楽しみの一つとの事。

「暇な時はフラフラン出掛け

みに安比スキーフィールドに行つたこと」と話す珠枝さん。今年は三回スキーに行つたそうです。また、バレー、ボルダリング、野球観戦も楽しみの一つとの事。

「東由利の長所は?」といふ問に對して、「なんといつてもんびりしている事。これに理想の男性は「強引にぐいぐい引っ張ってくれる人。尊敬できる人」とか。

いろいろな施設が加わればとても住みやすくなると思う」と話しています。

次のは出てからのお楽しみ。



佐々木珠枝さん(23歳)
大琴・講師

いろいろな施設が加わればとても住みやすくなると思う」と話しています。

次のは出てからのお楽しみ。

リッシュ

※先月号の小松忠正さんの作品「雪解けよ」は「雪解けの」の誤りでした。訂正してお詫びします。

みんな集まれ！タウン



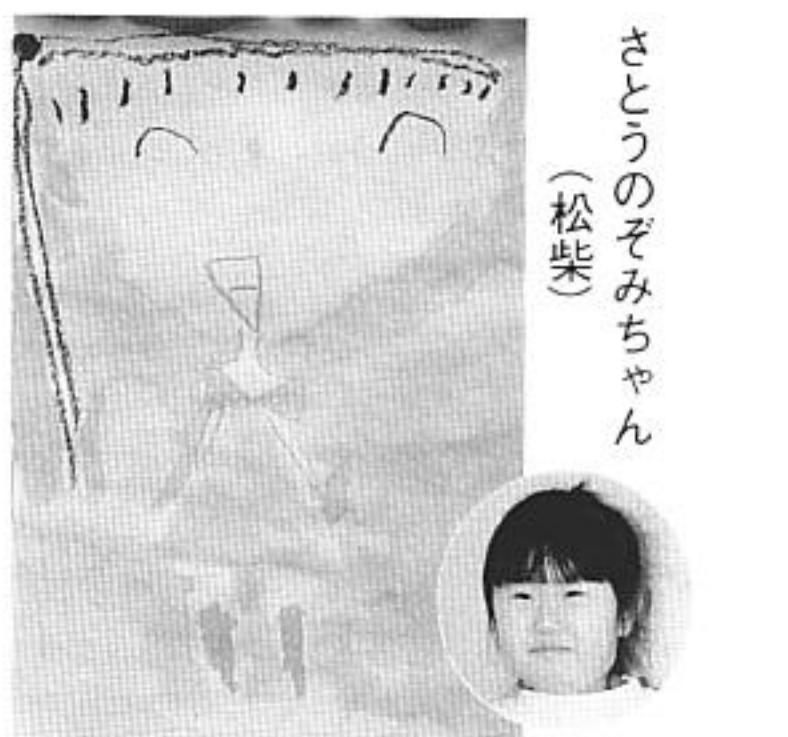
むらかみりょう
くん(石高)

みどり保育園



さとうしのぶちゃん
(時雨山)

じぶんのかお ぼくの絵 わたしの絵



さとうのぞみちゃん
(松柴)

さとうすぐるくん
(時雨山)



▽今月は日常会話を勉強しましょう。

おはよう=Good morning (朝のGreeting)

こんにちは=Good afternoon (午後のGreeting)

こんばんわ=Good evening (夕方のGreeting)

※英語では、丁寧語があまりないので、誰にでも上のGreeting (あいさつ) を言ってもかまいません。

HelloとかHiなどでも十分通じますし、この場合は時間に関係なくOKです。

アレン先生のつぶやき……

今月中旬から毎週火曜日に、「国際英会話教室」(International English Conversation class)をやってみたいと思います。時間は午後7時30分から8時45分ころまで。場所は未定ですが、生の英語を聞いたり、話したり、触れ合いの機会にしたいと思っています。初心者も大歓迎です。詳しくは、役場通信などでお知らせしたいと思います。

私達も一年生から三年生へと進級し、いよいよ最上級生だ。今年は最上級生として、生徒会活動・学校行事の先頭に立たなければならぬ。計画を立ててそれを実行し成功させなければならぬ。本当に私達にできるのか、新しい学年が始まったばかりだが不安でいっぱいだ。特に私達三年生は、下級生よりも人数が少ないので、全員が最上

級生であることを自覚していかなければならない。今までの先輩たちを見習って分校の伝統を汚さないように、自分も最上級生の一人として頑張りたいと思う。

ハイスクール○ 日記

最上級生 として



下郷分校3年
高橋 義和くん

また、高校三年生には「進路」の二字が重くのしかかってくる。就職・進学に向けて、本格的に動き出す年もある。自分も選択のときが近づいている。世の中は、いまだに不景気で就職難がいわれている。この点も不安を感じずにはいられない。この二つの大きな壁を乗り越えて、充実した一年間になるよう頑張りたいと思う。

